



笹森花絵さん

チヨークアート
憩いの空間演出

室蘭・せいてつギャラリーで個展

室蘭市知利別町の製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)のせいてつギャラリーで初の個展を開いているチヨークアーティストの笹森花絵さん(29)は、札幌市を中心に看板、メニューボード、記念日の似顔絵の受注

地域住民らの目を楽しませている笹森さんのチヨークアート

制作・販売、講師などの活動をしている。個展は登別市地域協力隊の登別アーティストインレジデンス(n・air)事業

統括ディレクターの小山則彦さんの紹介で実現した。同ギャラリーにはグループ展やカフェで展示していた作品のほか、ガラスや鏡に描いて消すことのできるキットパスを使用して壁い

っぱいのアートが描かれている。大きなリボンが特徴的でギャラリー内の空間を包みプレゼントするという意味が込められている。

また、黒板にはバルーンアートのような質感の花を持った少女の絵に「HAPPY COLOR」の文字や童話の「不思議の国のアリス」をイメージした作品。7点が並び、同病院を訪れる地域住民の憩いの場をつくっている。

笹森さんは「違和感なく、その場所が引き立つような絵を心掛けている。多くの人に身近な存在に感じてもらいたい、興味を持ってもらうことを目指して活動しています」と笑顔を見せていた。

個展は5月31日まで。

笹森さんは小学生から鉛筆デッサンや水彩画、油絵などの基礎を習得。札幌大谷大学短期大学部保育科を卒業後、仕事をしながら趣

味でアートを行っていた。2013年(平成25年)4月から独立し、チヨークアーティストとして活動を開始した。

(柴田圭介)